

		TOSS授業ライセンス-A表審査集計表																					
		実施年月日→				実施会場→																	
		審査員				審査員名		段位		審査員名		段位		審査員名		段位							
		受検者氏名→																					
		現級→																					
		審査員																					
						合計↓		合計↓		合計↓		合計↓		合計↓									
1	授業の基本		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 子役全員を授業に巻き込んでいる。		3																				
	② 一切混乱させずに授業を進めている。		3																				
	③ 必要必然の発問・指示で授業を組み立てている。		2																				
	④ その他		2																				
2	教材の選択（意味のある教材を）		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	① 現代の教育課題と正対した教材である。		4																				
	② 最新の技術や知見を取り入れた教材である。		4																				
	③ その他		2																				
	教材のポイント（その教材の本当のポイントを示しているか）		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	① 先行実践及び国内外の参考文献・論文を調べ尽くしている。		3																				
	② 正反対の主張まで調べ尽くしている。		3																				
	③ 膨大な情報から必要な内容のみを取捨選択している。		2																				
	④ その他		2																				
	4	授業にのめり込むリズムとテンポ		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 余分な間や言い淀みがなく心地よい。		3																					
② 集中が途切れず、進むほどに熱狂していく。		3																					
③ 驚きの声、感嘆の声を引き出している。		2																					
④ その他		2																					
5	授業中熱中して思考しているか		10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	① 無駄な授業行為を一切せず、授業時間の6割以上、全員を熱中して思考させている。		4																				
	② 討論や自由試行等能動的な学習から熱中状態を創り出している。		4																				
	③ その他		2																				
	6	授業のあざやかな組み立て		20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
① 新たな視点や新たな認識を得る内容である。		6																					
② 授業内容と指導案の記載内容（全体構造図や単元計画、本時案など）とに整合性がある。		6																					
③ 授業がプレゼン形式でなく、子役自身が学習活動の中で、自ら発見したり新たな知見を得ることができる組み立てになっている。		6																					
④ その他		2																					
7	教育界への新僻で骨太な問題提起		30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	① 教育史上誰も扱ったことがない重要なテーマ、また今までの教育界になかった新しい学習方法である。		10																				
	② 数冊の書籍を執筆し得る情報の質と量であり、大学教授などその道の専門家との議論に増える内容である。		10																				
	③ その他		10																				
	合計			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
結果			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

A表認定基準

100点…師範(十段)

95点～99点…師範代(九段)

90点～94点…八段

85点～89点…七段

80点～84点…六段

75点～79点…五段

70点～74点…四段

65点～69点…三段

60点～64点…二段

55点～59点…初段

51点～54点…1級

それ以下は全て「現級留置」

※現四段までは、認定されてから2年しても次の受検をしない場合は、「一級(段)格」となる。

※現四段までは、認定されてから3年しても次の受検をしない場合は、「前二級(段)格」となる。

<有段者 画期的な問題提起のある授業で歴史に残る授業分野を10分間で示せる>	
教員師範	
師範(十段)	
師範代(九段)	
八段	
七段	
六段	
五段—日本教育史に残る新しい分野を開拓する技能	
四段—過去の日本の授業者のトップクラスと同等の技能	
三段—「教科授業日本一の座」を奪取する技能	
二段—どの分野でも一流の授業分析、一流の授業ができる技能	
初段—風行きの大きな問題提起の授業ができる技能	